

閉会の挨拶



小泉 明 (日本医学会副会長)

閉会に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。第126回日本医学会シンポジウムを、本日のテーマでありますアレルギー・アトピー性疾患というタイトルで開催いたしましたところ、多数の方のご出席を得ましてありがとうございました。

日本医学会シンポジウムのテーマの中には、身近で多発する疾患ないしは健康障害が過去何回か取り上げられていますが、今回もそのような性格のテーマであったかと思えます。古くから知られたアレルギーならびにアトピー性疾患に対して新しい医学研究の光が当てられたと思っています。

アレルギーにつきまして、細胞レベルはもちろんですが、特に本日は遺伝子レベル、あるいはサイトカインなどの分子レベル、しか

も皮膚、腸管、気道などを場として何が起きているかということが取り上げられました。また本日は、日本の研究者ご自身からのご紹介を得たということも有意義であったと思います。

このシンポジウムを終わるに当たりまして、シンポジウムの企画から始まりまして、本日の各セッションの座長、総合討論の座長をつとめて下さいました組織委員の奥村先生、小川先生、山本先生に厚くお礼申し上げます。高度な内容をわかりやすく、図を用いて解説していただいた演者の方々、討論等を通じて内容を盛り上げていただきました参加者のみなさまに厚くお礼を申し上げて、閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。